



# さくらネット

勝山中学校だより 第29号  
令和4年(2022年)2月24日

## 「私の主張発表会」より②

～本校代表生徒の『主張』を紹介します～



2年生代表：柴田 悠花さん

【優良賞】「言葉の大切さ」  
2年 柴田 悠花

私は、この一年間で言葉がとても大切だということが分かりました。言葉は、日常において、会話の時や、気持ちを伝える時に使えるとても便利なものです。しかし、使い方を間違えてしまうと、人を傷つけたり、嫌な気持ちにさせてしまったりすることがあります。

特に、インターネット上では、このようなことが多くあります。私がインターネットを使っている時も、「うざい」などの悪口をたくさん見ます。このようなことから、私は、どうすれば人を傷つけずに言葉を使用できるのかを考えました。

まずは、普段から言葉遣いに気をつけることが大切だと思い、家や学校での言葉遣いを見直すことにしました。すると自然に「ありがとう」や「すごいね」など表現できるようになり、以前の自分と気持ちの面でも少し変わることができました。

次に、他人から言われて嬉しくなったり、楽しくなったりする言葉はなんだろう、と気になりました。そこで自分なりに考えてみると、「ありがとう」や「かっこいい」「すごい」などの言葉が思い浮かびました。私が考えた言葉は、本当に他人が嬉しいと思ってくれるのか、他にも違う表現方法があるのではないだろうか、と思い調べてみました。私の考えた言葉も人を嬉しい気持ちにさせますが、インターネット上には、もっと人を元気づけられる言葉がたくさん載っていました。「最近元気ないけど大丈夫」や「話したいことがあればいつでも話してね」などの言葉がありました。目についたこの二つの言葉は、口に出して使うには、少し恥ずかしく、勇気が必要な言葉だと思いました。しかし、その分、人をより元気づけられる言葉であるとも感じました。もしも、このような言葉をかけてあげることができれば、多くの人を元気づけられる気がします。

私は今、毎日学校に行って、友達と一緒に過ごせてとても楽しいです。苦手な授業がたくさんあって、行くのが嫌だなどと思う日もあったりするけれど、本当に楽しい学校生活を送ることができています。新型コロナウイルス感染症の影響で色々なことが制限されていますが、一緒に気持ちを分かち合える友達、いつも笑顔にさせてくれる友達の存在はなくてはならないものです。しかし近年では、学校に来ることができない生徒が増えています。その一つの要因が「言葉」です。私は、改めて言葉について考え直してみても良かったと思います。

また、言葉と一緒に表情を上手に使うと良いと思います。嬉しかったり、感謝の気持ちを伝えたりする時に、笑顔で「ありがとう」などと言うと、自分も相手もとても良い気分になれると思います。だから私は、みんなが持っているこのすごい言葉の力を使って、学校に来ることができていない人や、嫌な思いをしている人が少なくなれば良いなと思います。そしてみんなでも楽しく授業を受けることができると嬉しいです。

この一年間を振り返ってみると、色々なことがありましたが、「言葉の大切さ」を考え直したことは、私にとって一生の宝にできることだと思いました。これからも言葉を大切に、相手を思いやれる人になっていきたいです。



## 入学説明会開催 ～総務役員の説明光る～

2月17日（木）、来年度入学予定の6年生と保護者をお迎えして、入学説明会を行いました。

教員による学校の概要説明に続いて行われた「小学生からの質問コーナー」では、事前に寄せられていた6年生からの質問に対して、生徒会総務役員の3名が丁寧に回答を返しました。

「校則って、どんな感じですか?」「勉強についていけるか心配です」「先輩との上下関係が心配です」「友達ができるか不安です」など、6年生の質問からは中学校生活への不安が大きいことがうかがえました。一方、それぞれの質問に対して「大丈夫ですよ」と丁寧に回答する総務役員は、立ち姿も話し方も凛としており、さすが生徒会リーダーだと頼もしく感じました。また、一問一答コーナーでは、「優しい先生はいますか?」「七不思議はありますか?」などの質問もあり、質問コーナーは終始柔らかい雰囲気で行われました。

コロナ禍のため、4小学校交流会は実施できませんでしたが、頼もしい先輩の様子を見て、6年生もきっと安心したことでしょう。いよいよ2月も残りわずか…春はもうすぐそこですね。

